

二〇一七年の寺子屋

今回の寺子屋の予定が決まりました。テーマは「念佛のある生活」副題は「教えに出遇う」です。全3回で1回だけでもご参加頂けます。

第1回 2月3日(金) 午後1時
会 所 西来寺 講師 讓西賢さん
第2回 3月9日(木) 午後1時
会 所 最光寺 講師 瓜生崇さん
第3回 4月19日(水) 午後1時
会 所 浄栄寺 講師 伊藤元さん

参加費は1回千円(お茶代)ご希望の方は西来寺までお電話ください。(046) 822-1020

西来寺で講演をしてくださる讓西賢さんは、岐阜県慶円寺の住職をされている傍ら大学で心理学教え、臨床心理士、学校心理士としても活躍されています。『自分の「心」に気づくときカウンセリングの対話から』『神も仏も同じ心で拝みますか心に響く3分間法話』『今、ここに生きる歓び』などの著書をお持ち

で、カウンセラーとして相談を受ける中で仏教の教えを伝え、相談者の心を解きほぐす仏教カウンセリングを実践されています。

「話を聞くということは、話によって自分というものを捉えなおすということです」と、前回の寺子屋の講師佐野明弘さんが仰っていました。寺子屋は教えに出遇い自分を捉えなおす機会と言えるかもしれません。是非ご参加ください。

本のプレゼント



本年の報恩講も多くの方にご参加いただき無事終えることが出来ました。また講演も好評で、もう一度ひろ先生を呼んで欲しいという声を何人もの方からいただきました。そこで今回は講演して下さった「ひろさちや先生」のサイン入りの本を皆様にプレゼントいたします。今後皆さんが聞いてみたいと思うような講演を企画してきたいと思っておりますので、是非ご意見ををお聞かせください。

ハガキに左記の5項目をご記入の上、ご応募ください

・お名前・ご住所・お電話番号
・ほしい本のタイトル
・今後報恩講で呼んで欲しい講師、又は報恩講で聞いてみたい話の内容

宛先は〒238-0051 横須賀市不入斗町3-38 西来寺 本のプレゼント係まで、締め切りは1月31日消印有効 発表は発送を以てかえさせて頂きます。

〈プレゼント対象本〉

・仏教の釈迦キリスト教のイエス(1冊)
・釈迦(1冊)
・面白いほどよくわかる 世界の宗教／宗教の世界(2冊)
・本当の宗教とは何か青の巻(1冊)
・本当の宗教とは何か白の巻(1冊)



お知らせ

西来寺報の俳句欄の担当をして下さっていた石井和江さんが、9月に急逝なさいました。

私たちも未だ信じられない思いです。同朋会のある方が「石井さんに俳句を教えて頂くようになってから、道を歩くときでも、この花はなんていう名前かしら?とか、この緑はきれいだなあ、と考えるようになって、毎日がキラキラしてきた」と仰いました。それを石井さんに伝えると、本当に喜んで下さいました。その時の凜としたとても優しい表情で微笑む姿が忘れられません。本当に最後まで、楽しそうに皆さんから寄せられる俳句に目を通していらつしやったそうです。

石井さんが俳句の時間を通して、私たちに伝えて下さった大切なものを忘れずにいたいと思っています。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

合掌

なお俳句欄はしばらくお休みとさせて頂きます。

ホームページでも報恩講の写真がみられます <http://sairaji.com>

西来寺報

二〇一六年 冬
第二十四号

お念仏の声を出しましょう

今年も報恩講が終わりましたが、当西来寺の報恩講も多くの方々に参詣いただき、大盛況にて勤まりました。報恩講をお手伝いくださった方々本当に有り難うございました。この場をかりまして深く御礼申し上げます。

さて、多くの方々にお参り頂いたのですが、気になることが有りました。それはお念仏の声がだんだん聞こえなくなってきたことです。これは西来寺のことだけでなく、浄土真宗が盛んな地方でも、近年そのような傾向になっているようで、念佛(南無阿弥陀仏)を申す声が少なくなっているとの声をよく耳します。そこで今回は「ナムアマミダブツ」のことを申し上げさせて頂こうと思います。

南無阿弥陀仏という言葉は漢字で書かれてありますが、元はナモーア

ミターバ、ナモーアマミターユスというインドの言葉の音(おん)を中国の漢字に当てたものです。(音写語といいます)その意味は「限りなき智慧と慈悲の働きを本当の拠り所にします」という意味です。と同時に、真実の智慧を拠り所にしなさいという仏さまからの呼び声でもあります。自分の都合でしかものを考えない私たちに向けられた声です。そして自分が一体何を拠り所しなければならぬのか問われている言葉でもあります。

ナムアマミダブツと声に出すことはなんとなく気恥ずかしいという人もあるかと思いますが、是非声に出す習慣を持っていたきたいと思えます。親鸞聖人の和讃に「信心のひとにおとらじと 疑心自力の行者も如来大悲の恩をしり 称名念仏はげむべし」とあります。まずは声に出すことが大切なですね。

合掌 住職



除夜の鐘(大晦日) 修正会(元日)

除夜の鐘の打鐘

十二月三十一日(土)

午後十一時四十五分

西来寺梵鐘は横須賀市内に残る最古の梵鐘で、横須賀市の指定重要文化財です。

みなさんでついで、新しい年を迎えましょう。

修正会

一月一日(日)

午前十時

修正会は元日に行われる法会で、その年の生活の目標を立て、心を新たに求道の道を進む決意をします。

私たちにとって何が本当に大切なことであるか。それを改めて考え、新たな一年に臨むのが修正会です。

是非、ご参加ください。

ひろさちや先生 講演

「世界の宗教／真実を見るために」



2016年10月28日



二〇一六年報恩講、正午から降り出した雨は夜まで降り続き、肌寒い一日となりました。本年の講師ひろさちや先生は六百冊以上の著書を持ち、宗教になじみのない人たちに向けて宗教を伝えるエキスパート。講題「世界の宗教」を踏まえて、私たちの生活に役に立つ形で宗教の話をしてくださいました。

「間違いをしたからいけない」というのは **おかしい**

私たちは宗教と言えどもっとまじめにやることだと思っています。何か神様にお願ひ事をしたときに、うまくいかなかったとしましょう、そうするとそのお願いが通じなかったのは、自分の祈り方が足りなかったからだ！などと思いがちです。

しかし、神様が聞いてくれるか聞いてくれないかは先方の都合でしかありません。私は私で真剣に祈ったけれど、結果はダメだった。そんな時は、ダメなら仕方ない、あとは自由にやるうじゃないか。これでいいんです。面白いでしょう。真面目な

人間だから神様は好きとか、そんなことではないんですよ。

一神教の考え方は、**完全な存在は神様だけで、人間は不完全なんだというものです。**これが宗教の原点です。悪いこともやれば、良いこともやる、それが人間です。

それは仏教でも同じで、「凡夫」という言葉がありますね。仏さまだけが完全な存在で、私たちは凡夫。間違いばかりする人間です。宗教を理解するために大事なのはここです。間違いをしたからいけないという考え方はおかしい。神様は完全、人間は不完全で出来損ない。人間は不完全だから間違える。それを許しあって生きていこう。これが世界の宗教の原点です。

わからんことはわからん

イスラム教には有名な「インシャアッラー」という言葉があります。この言葉の意味は「もしも神様がそれをのぞんでおられたら」という意味です。イスラム教の聖典コーランの中に、明日のことを言っ

いく、それが宗教のいいところなんです。日本人は宗教心がないので、他人のミスばかりつこうとします。でも人間が努力したってどうにもならないことがありますよね。未来の事、明日の事なんてどうなるか、分からないんです。「**わからんことはわからんことだ**と**わかること**が**わかること**」なんです。

わからんことはわからん、阿弥陀さんに任せておけばいいじゃないかというのが浄土宗・浄土真宗のいいところです。私たちは阿弥陀さんじゃないんだから、まあそこそこ努力すればいいわけです。インシャアッラーはアッラーの神にお任せするということですから、私たちはインシャア弥陀と言え

お浄土に **もっていくんやで**

皆さんも、もうすぐお浄土へ行くわけですが、お土産用意していますか？私はお袋が96歳で亡くなる半年前にこういう話をしました。「お母

ちゃんもうすぐお浄土にいくんやで、お浄土にいくのにお土産用意しているか？」と。すると母は「そんなもの用意してない、何を持って行ったらいいんや」と不安そうにします。「そりゃあ美しい想い出を持ってい

じゃあお浄土に持って行く美しい想い出って何かというと私たちの不幸です。お浄土がどんな世界かというと光ばかりの世界なんです。お浄土は光ばかりの世界で影がない、そうすると何も見えなくなってしまう。モノが見えるっていうことは影があるから見えるんですね。幸せばかりの世界、極楽世界であるお浄土では何も見えなくなってしまう、そうすると私たちがこの世の中でのいろいろ苦しんだ、悩んだ、悲しんだ、これが影になります。この影があるからこそ光が見えてくるんです。だから美しい想い出といえ

ない、ただしインシャアッラーを付けたら言っても良いと書いてあります。「もしも神様が望んでおられたら〜します」と言ってもいい。だから飛行機の機内放送もインシャアッラーが始まります。「もしも神様が望んでおられたらこの飛行機は成田空港につきますよ」という言い方をするんですね。私はそういう意味でインシャアッラーという言葉

駄（かみげた）主義と呼んでいます。神様に下駄を預けているという意味です。未来のこと、明日のことは全部神様にお任せしようじゃないか、これが神下駄主義の考え方です。

私は最初、インシャアッラーという言葉が全部神様のせいになっているように感じて嫌いだ

みんなお互いに許しあって生きて

「安心しな、お母ちゃんお土産いっぱい持っているからな。敗戦後お父ちゃんがシベリア送りになって子供4人と姑さんまで抱えて生きていかなきゃならない、苦しんで悲しいこと一杯あったやろ、でもそれが立派なお土産になるから安心してお浄土に行きな」と話したんです。話を聞いたお袋は「そうか、ありがとうな」と言っ

皆さんもお土産いっぱい持ってください。今まで苦しんで悩んで悲しんだ、それが立派なお土産になっていると信じて欲しい。そうしてあとしばらくですが悩み苦しんで悲しんでください。それが立派なお土産になるんだと思っ



かなしいことや、つらいこと、先生は私たちの心をときほぐしてくださいました